

人 輝く・安芸高田



あきたかた

# 議会だより

今回の題字は、**早稲田 隆 浩** (小田小学校6年) くんです

## 主な内容

**20年度予算**を審議・・・2～9

**学力向上の支援** ……………13

**学校耐震化の実施状況は** ……24

**新市長に問う** ……16～23

**地域のかがやき** ……26

写真は向原町長田を流れる三篠川です

**第18号**

2008(平成20)年8月1日発行

6月定例会は6月2日(27日まで)を会期として開かれました。一般会計予算など20年度予算14議案は予算審査特別委員会に付託、審査されすべて原案通り可決しました。

その他では、安芸高田市手数料条例の一部を改正する条例など8議案、発議案2件、同意2件、諮問3件、承認4件を原案どおり可決しました。

一般質問では15名が市政を問いました。

# 市民に反映される予算執行を

## 20年度予算

予算審査委員長  
亀岡 等

20年度予算編成は浜田市長のもと厳しい財政状況を勘案され、ハード事業は特に緊急を要するもの、ソフト事業は市民生活に直結する福祉・教育・定住対策を重要視され、人件費の削減策もありました。

- 自主財源の確保
  - 滞納整理の強化
  - 公共施設の耐震診断や改修状況
  - 下水道整備
- などがあり、審査の結果、14件の予算はすべて原案のとおり可決しました。

浜田市長は予算委員会で指摘された点につき真摯に受け止めていただき「市民の声」が十分に反映される予算執行を望み報告とします。

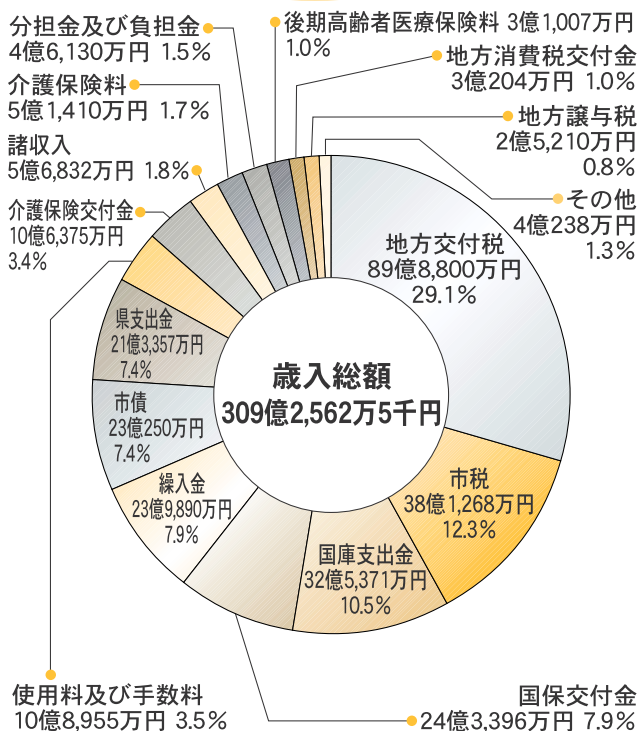
(審査内容はP.4～P.9に掲載)

## 平成20年度当初予算 歳入歳出予算構成

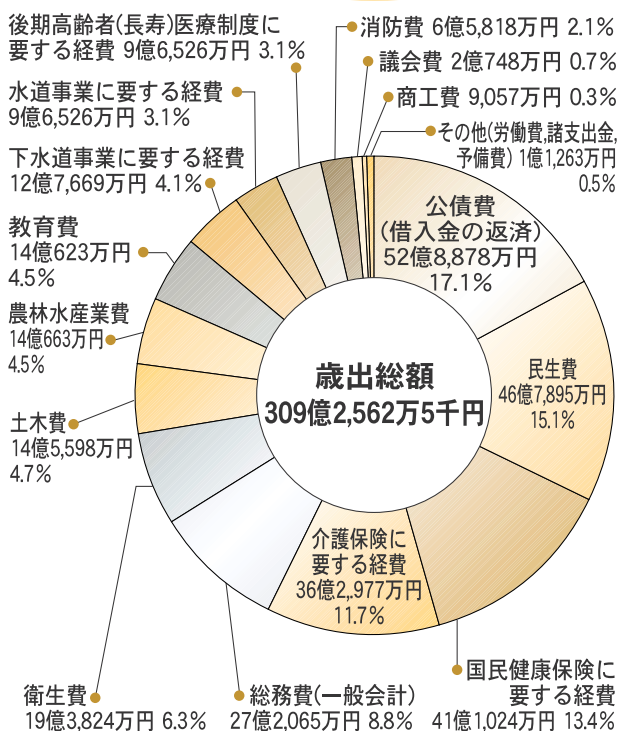
(一般会計と特別会計等の合計です)

(単位：万円) %構成比

### 歳入(全会計合計)



### 歳出(全会計合計)



(※20年度予算の詳細は、広報あきたかた7月号に掲載されています。)

# 反対だ 賛成だ

14件の予算はすべて可決

<p><b>賛成者 (18名)</b></p> <p>山根 宍戸 明木 秋田 田中 加藤 川角 塚本 赤川 松村 藤井 青原 金行 入本 山本 今村 玉川 渡辺</p>	<p>市長着任2ヶ月とはいえ、市長と担当部局との意思疎通が不足しており、課題は決定しだい補正で対応すると先送りの答弁だった。9月定例会では浜田市長のカラーが出ることを期待して賛成。</p>	<p><b>賛成討論</b></p> <p>入本</p>	<p><b>反対討論</b></p> <p>岡田</p> <p>人権協会の400万円予算は運動団体の方針が旧態依然としているので反対。</p>	<p><b>平成20年度 一般会計予算</b></p>
--	--	------------------------------	---	---------------------------------

<p><b>賛成者 (18名)</b></p> <p>山根 宍戸 秋田 田中 加藤 川角 塚本 赤川 松村 藤井 青原 金行 入本 山本 今村 玉川 亀岡 渡辺</p>	<p>後期高齢者医療制度に基づいて国の説明もいろいろ変わり、全国でも問題が起きており本市の財政の面からも反対。</p>	<p><b>賛成討論</b></p> <p>明木 杉原 岡田</p>	<p><b>反対討論</b></p> <p>岡田</p>	<p><b>国民健康保険税 条例の一部を 改正する条例</b></p>
--	---	------------------------------------	------------------------------	---

<p><b>賛成者 (15名)</b></p> <p>山根 宍戸 秋田 田中 加藤 川角 塚本 赤川 松村 藤井 金行 山本 玉川 亀岡 渡辺</p>	<p>平成12年に国会で高齢者医療費制度が決議された。今後、高齢者増加により医療費不足が考えられるので賛成。</p>	<p><b>賛成討論</b></p> <p>山本</p>	<p><b>反対討論</b></p> <p>岡田</p> <p>75歳以降を別会計にする制度を国が決めたのは世界にも類のないことで、高齢者の生活を守る観点から反対。</p>	<p><b>平成20年度 後期高齢者医療 制度特別会計予算</b></p>
---	--	------------------------------	--	---

<p><b>賛成者 (18名)</b></p> <p>宍戸 明木 秋田 田中 加藤 川角 塚本 赤川 松村 藤井 青原 金行 入本 山本 今村 玉川 亀岡 渡辺</p>	<p>農業法人や担い手農業者のような規模拡大農家は借用地に関わる事務も多いが、効率化やコスト削減に努力している。行政が事務を代行する場合には受益者が実費負担することには賛成。</p>	<p><b>賛成討論</b></p> <p>明木</p>	<p><b>反対討論</b></p> <p>山根</p> <p>新しい安芸高田モデルとして手数料を設定しないことでこの事業を全市に広め、食糧生産を下支えする側面からの農業振興策として根づかせてほしいので手数料設定に反対。</p>	<p><b>安芸高田市手数料条例の 一部を改正する条例</b></p>
--	---	------------------------------	--	---

(入本 和男)

## 一口メモ

### 手数料条例の一部改正

従来、農林業振興公社が行っていた農地保有合理化事業の利用権設定に関する事務を市が引き継ぐことになりましたが、その手数料を定めるのが主な内容です。

# 滞納整理の強化

## 副市長が本部長で対応

**岡田 予算編成の基**

本方針は。

**田丸部長** 合併時の

建設計画、長期総合計画に基づいていきます。さらに財政健全化計画によって歳入増、歳出削減を図る中で、市長の意向を取り入れていきます。

**塚本 職員手当での**

削減計画は。

**田丸部長** 職員の手

当てで大きいのは時間外と休日出勤で、各課に時間外配分をして調整しています。

**川角・青原・今村**

滞納整理の状況と取

り組みは。

**藤川副市長** 副市長

が本部長となり、収納係と徴収専門員を中心に各課と連絡会議を設けて取り組んでいます。税以外の滞納も含め一括徴収は今後の推移をみながら検討します。

**廣政部長** 滞納金の

総額は7億2千万円で内訳の主なものは市税・国保税3億円、住宅貸付が3億5千万円です。

**山本課長** 昨年11月

から専門官に来ていただき19年度を中心に努力した結果、増収になっています。20年度は98・5%以上の目標を見込んでいます。

**藤井 事務機器、備**

品購入費、自動車な

どの借り上げ料が増加しているが。

**武岡課長** 事務機器

は、後期高齢者医療制度に伴う電算システムへの整備、備品購入は消防の化学ポンプ車購入で、借り上げ料は教育委員会のバスの借上げが主たるものです。

**赤川 地域振興会支**

援金の傾斜配分を増

やす考えは。

**市長** 配分率は「世

帯割1」、「均等割9」は「まちづくり委員会」を通じて地域振興会の連合組織で決められたものです。振興会の意見を賜りながら検討します。



救急出動に日々の点検

**山本 葬斎場建設は**

いつの時点ではつきりされるのか。

**市長** 市民の関心も

あり、地元の説明が第一で、了解が得られたら実施します。

**入本 広告掲載事業**

の歳入目標は。

**田丸部長** 財政健全

化計画では200万円計上しています。

**今村・宍戸 財政健**

全化に向けて、監査機能を強化すべきと思うが。

**市長** 状況をみながら支障があれば考えます。



職員手当では削減

# 自主防災の設置を 防災対応は職員で



消防署の指導で自主防災訓練（北地域振興会）

**今村・金行** 自主防災組織と消防本部との関係、今後の取り組みは。

**竹川消防長** 自主防災は市の防災担当で、消防本部は訓練のみ行います。また、自主防災組織の設置に努め、自治組織として連携して取り組みます。

**岡田** 広域消防の考えは。

**竹川消防長** 広域の消防本部再編は時間がかかりますが、消防は市の責任で行うべきと考えます。

**今村・入本・川角** 消防の整備計画は。市長 消防団整備計画は各方面と調整し9月に示します。

消防職員採用計画は、消防救急力が低下しないよう、OBや一般職との共有も考えます。

**竹川消防長** 化学消防ポンプ車を導入し、消防力の向上を図ります。

また、消防団への指令伝達方法は、有線放送設備や防火無線の他携帯電話や電子メールを活用しています。

**入本・松村・杉原** 北部分駐所の取り組みは。

**竹川消防長** 救急補助員5名の予定ですが、現在4名で、救急救命士1名と救急補助員2名の3名で出動しています。

**久保消防署長** 分駐所の救急件数は、9月16時107件、美土里・高宮全体（284件）の約30%です。



消防署と消防団の連携で消防力向上

**松村** 消防団員の不足は。  
**広政消防次長** 団員条約定数では865名ですが、現在847名です。

**中迫主幹** 職員がまわって指導し、一人暮らしでは398戸の内72戸（18%）に設置されています。

**今村** 高齢者の防災対応で住宅火災報知器の設置状況は。

（加藤 英伸）  
（明木 一悦）

# 男女共同参画は 女性会・振興会で

**入本・青原 女性会**の補助金配分と登録者数は。  
**毛利課長** 市女性会連合会では各町へ均等割で27万5千円と会員1名に対して150円の加算となっています。会員数は八千代(202名)、美土里(351名)、



可愛振興会のグラウンドゴルフ大会

高宮(456名)、向原(50名)、吉田・甲田は登録されていません。  
**入本** 今後、女性会の位置づけは。  
**毛利課長** 市女性連合会は男女共同参画社会の実現に向けて、とりくんでおられ、

市としても支援していきます。女性会のない地域は振興会に呼びかけ取り組みに参加してもらっています。

**山本** 保育所費の減額理由は。

**是常課長** 各園で電気、電話、警備委託の予算を割り振っていたものを、事務の簡素化のため本庁で一括計上しました。

**赤川** 生活保護扶助費削減の要因、また、該当世帯数や人口は。

**重本課長** 扶助費減の要因は、対象者の減で19年度末が202世帯(340人)、20年188世帯(326人)と減少しています。

**明木** 子どもが集まる場所での安全安心の対応は。

**市長** 今後とも安全

管理体制の点検を行い安全性の確保に努めます。

**秋田** 市役所内における障害者雇用は基準に達しているのか。

**田丸部長** 現在、基準に達していません。21年度に採用を考えたいです。



子どもが安全に遊べる管理を

# 給食センターは

## 給食配送を検討

**山根・今村** 給食センター整備調査事業は。  
**市長** 学校と保育所を統一した給食配送を検討して、総合的に判断して進めます。

**山本** 学校のインターホン設置事業は。  
**益田次長** 安全対策として各教室が孤立しないよう、教室と職員室が連絡できるように設置するものです。



高宮学校給食センター

**藤井** 学校施設耐震化調査事業で20年度、小中学校の3校が実施されるが、今後は。  
**森川課長** 優先度調査結果で危険度の高いものを具体的に調査するための予算計上で、今後も早急に取り組みます。  
(24ページ参照)

**青原** 少年自然の家管理運営費の増額は。  
**大野課長** 自然体験事業の企画や、燃料の高騰による管理費等の増額のためです。

**入本** 少年自然の家の職員2名配置は今後も続けるのか。  
**益田次長** 所長は状況により可能なら兼務し、職員については検討をしていきます。

**金行** 民俗資料調査事業の内容は。  
**大野課長** 各町の施設に保管してあるものの基礎調査を行い、今後どのようにするか検討します。



民俗資料の適切な保存を（甲立郷土館）

（松村ユキミ）  
（秋田 雅朝）

# ブランド米事業は 販売ルートの確立



地籍調査の着実な推進を

**秋田** 認定農業者支援事業は、利用者を把握しての計画か。  
**清水部長** 算出根拠は実績に基づいており、要望に応えたいが、財政的・総合的な観点から判断します。

**秋田** 飼料米の将来的な取り組みは。  
**清水部長** 飼料の高騰が背景にあり、米の過剰が続く限り、

飼料米作付けの拡大を図ります。

**青原** アグリフーズでの安芸高田産米の年間使用量と今後の指導は。

**藤本課長** 年間1297トンのうち640トンで市内産が半数を占めております。今後もJAと協議し、地産地消の面からも作付け計画を行い、需要拡大に努めます。

**川角** 農道舗装は地域間の格差があり、補助対象も変わっているが今後は。

**清水部長** 県の補助事業で推進してきましたが、削減傾向にあります。

今後、未整備路線を単市助成や受益者負担も視野に入れて考えていきます。

**渡辺** 地籍調査の計画は

**清水部長** 現地の境界確認が高齢化社会に伴い難しくなりませんが、長期計画を作成し推進します。

**今村** 「ブランド米」事業の計画目標と、取り組みは。

**清水部長** 消費者への消費拡大と安芸高田産米のイメージアップ、販売ルートの開拓を目標に、30ha以上の作付けを計画しています。

## 一口メモ

### 「ブランド米」事業

県下有数の米産地としてのPRを行うとともに、消費者との交流イベントの開催や安芸高田市独自のネーミングのブランド米の取組みを通じて安芸高田市のおいしい米の消費拡大を進める事業です。



「ブランド米」事業で安芸高田産米のイメージアップを



# 有害鳥獣対策は

## 集落単位で取り組む

**金行・穴戸・赤川**

有害鳥獣対策で柵が必要と思うが。

**清水部長** 柵による

防御と駆除で対応しており、今後も柵の設置助成については集落単位での取り組みを中心に推進します。

**入本 土師ダム**での

花火大会の予算と投資効果は。

**佐々木課長** 市の助

成金は600万円です。「安芸高田市」の名前を最大限アピールすることで市のイメージアップを図り、将来的には1万発を目標にしています。

**川角・今村・岡田**

道路改良の予算が減額になっているが。

**金岡部長**

委託料や工事請負費も減額となりました。県も財



集落単位で防護柵の対応

政健全化計画で約30%

削減し、これまで計画された改良事業も見直しが行われています。

よって、継続中の道路改良を最優先します。

**今村「清流園」**での光熱費が原油高騰のなかで対応できるのか。

**新川課長** 値上がり前で予算計上しており、補正予算で対応します。

**金行** コミュニティプラント事業（甲田町下小原）の加入促進を。

**新川課長** 現在新規に25戸が加入予定で、

加入促進に努力します。



加入促進で環境整備を（コミュニティプラント）

加入促進に努力します。

美土里 52・8%  
高宮 74・2%  
甲田 76・6%  
向原 100%  
の状況です。

**明木** 下水道整備の普及率は。

（塚本 近）

**新川課長**

吉田 46・8%

八千代 24・5%

総務企画常任委員会

6月定例会で付託された議案6件を審査した結果すべて原案のとおり可決しました。また「非核日本宣言」の要請書を採用し意見書を政府に提出することになりました。また7月8日に委員会を開催し、所管事務の調査を行いました。

主な審査

○学習補助員及び安芸高田市大規模小売店舗立地協議会委員を設置し、報酬を定めるもの  
○地区集会所施設を地域に無償譲渡や土地の無償貸付等を定めるもの

委員長	山本 三郎
副委員長	明木 一悦
委員	山根 温子
	加藤 英伸
	赤川 三郎
	玉川 祐光
	岡田 正信
	松浦 利貞

# 支所の活用で地域活性化を

## 各支所活用計画

明木・山根・松浦が問う

田丸部長

- ① 支所は地域拠点として整備する費用や地域条件も違うので、今後、幅広い意見を踏まえて整理します。
- ② 地域拠点として格差がないよう整備し、他の公共施設の供用も考えます。



向原支所は美術館で活用

## 職員配置と業務

松浦・山根・明木・赤川が問う

浜田市長

- ① 支所や本庁機能の見直しと、職員の意識改革が一番重要と考えています。
- ② 施策の協議は、職員との会議のなかで人事を把握して対応します。
- ③ 消防署の人員は、退職者補充が困難ですが、現在の職員数で最大の努力をします。



権限移譲で増える職員の業務量

## 執行部へ 問題提起

総務企画常任委員長

山本 三郎

議会の審議中事項を既に決定したかのように市民展開することの意見については、執行部は意見を真摯に受け止めて今後十分配慮し、執行部と議会が両輪で進むように注意するよう意見した。



日韓友好親善刈田地域まちづくりセンター（八千代町）

## 基幹集会所設置管理 条例の一部改正

「八千代町刈田生活改善センター」が「日韓友好親善刈田地域まちづくりセンター」に名称変更され、利用料金等が設定されました。

## ふるさと納税

岡田・明木・齋・松浦・山根が問う

武岡課長

- ① 条例施行は早い段階で予定しています。
- ② 寄附金額に格差なく、記念品を送る検討をしています。
- ③ PRは多種媒体で行います。
- ④ 安芸高田市出身者に寄附をしていただく推進組織づくりを検討しています。

## 一口メモ

### ふるさと納税

個人住民税の一部を生まれ育った故郷の自治体などに納めることを可能とする制度で、平成20年4月30日の地方税法改正により、従来の寄附金控除税制を拡充する形で導入されました。

# 女性の意見を

## 市政に反映

大規模小売店舗  
立地協議会

明木が問う

浜田市長

- ① 協議会委員会は幅広い角度からの検討が必要なので、有識者、女性委員も考えています。
- ② 委員の日額報酬は、状況を勘案して7千円と決めました。

生活交通の見直し  
山根・明木が問う

竹本課長

- ① 高齢女性の利用者が多いので、「まちづくり委員会」で地域代表者と、女性の意見を伺い、ニーズに対応します。
- ② 利用者を中心とした独自の利便性の高いものを重視します。

## 一口メモ

### 大規模小売店舗立地協議会

協議会では、店舗面積が1,000㎡以上の大型店の新增設に際して、生じることが予想される「交通渋滞」「交通安全」などの問題を検証し、設置者が施設の配置及び運営方法について配慮すべき重要事項を調査し、意見を述べます。



急がれる生活交通対策

（明木 一悦）

文教厚生常任委員会

6月定例会において付託された議案2件について、慎重に審査し、すべて原案のとおり可決しました。

また、学力支援事業について説明を受け、市管理栄養士設置及び吉田小学校校舎建替えの陳情について継続審議としました。

〈主な審査〉

- 安芸高田市放課後児童クラブ条例の一部改正
- 安芸高田市国民健康保険税条例の一部改正

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 亀岡 等  |
| 副委員長 | 秋田 雅朝 |
| 委員   | 松村ユキミ |
|      | 青原 敏治 |
|      | 藤井 昌之 |
|      | 今村 義照 |
|      | 渡辺 義則 |

# 第2イルカクラブ設置

## 吉田小学校の教室利用



利用希望が増える放課後児童クラブ（イルカクラブ）

議案内容

・イルカクラブ定員70名に対し1001名の応募があり、児童の安全管理、今後の入所予定児童数の推移を考慮し、施設の拡充となった。

審査内容

青原 保護者の意見は。廣政部長 1箇所ですが、安全に児童クラブを運営するから2箇所にせざるを得ないと説明しています。



第2イルカクラブは吉田小学校の教室を活用

藤井 条例では低学年対象だが問題ないのか。

廣政部長 市長の権限で「市長が健全育成のため、指導を認める児童も対象とする。」となっており、4年生以上も利用できます。

今村 市内各児童クラブと児童館の共有化が必要と思うが。是常課長 担当課として全体の施設長会

議を開き、運営等の連携を強めていきたいと考えています。

秋田 第2イルカクラブは当面5年間くらいの暫定措置と伺ったが、今後の考えは。

市長 政策課題として24時間保育、土日の対応も含めて考慮し、将来的に行政主導でなく、市民の納得のいく方向性を出していきます。

# 学力向上の支援

## 学習補助員制度導入

### 3校がモデル校。次年度に反映



根野小学校（八千代）



可愛小学校（吉田）



小田東小学校（甲田）

### 学習補助員制度は

青原・今村・明木・加藤・山根が問う

佐藤教育長

- た3・4年生に限って集中的に指導するところですが。
- ① 採用条件は、教員免許者を望むが、20年度は免許の有無を問いません。
  - ② 職務内容は、学力向上の支援が目的です。
  - ③ 放課後児童保育との違いは、学力調査等で課題を抱えた3・4年生に限って集中的に指導するところですが。
  - ④ 実施成果はある程度の期間をみて検証します。
  - ⑤ 月額報酬は、17万8千円です。

### 家庭教育支援員は

藤井・秋田・明木・岡田・山根が問う

永井教育参事

- もをとりまく環境を充実させ成果のあるものにします。
- ① 20年度は、約400万円の補助事業で、家庭教育支援員を市内3校へ配置します。1名は社会福祉士資格者で、2名は退職校長を考えています。
  - ② 家庭教育の支援に着眼を置き、子どもをとりまく環境を充実させ成果のあるものにします。
  - ③ 採用については、子どもに対する情熱や使命、責任感があり、専門的な知識を有した方を前提としています。
  - ④ 勤務内容は柔軟に対応します。

### 一口メモ

「学習補助員」配置事業  
 児童の学習状況に応じたきめ細やかな指導体制を整備し、学習意欲の高揚と学習習慣の定着を図り、基礎的・基本的な学力の定着・向上をめざします。「学習補助員」の主な活動内容は、  
 (1)授業中の教科学習の補助(2)放課後学習支援(3)担任等の教務・学級事務の補助 等です。

### 「家庭教育支援員」

#### 配置事業

不登校や問題行動等の未然防止及び早期発見・早期対応を図るとともに、深刻な問題を抱えている家庭、児童への的確な支援を行います。支援員の主な活動内容は、(1)家庭訪問及び保護者との面談(2)児童等への相談(3)教職員への情報提供、支援、相談(4)関係機関とのネットワークの構築、連携等 です。

産業建設常任委員会

6月定例会において産業建設委員会に提出された議題について協議し、意見書1件を提出、報告事項1件を受け協議しました。

〈主な審査〉

○農地保有合理化事業について  
○大規模小売店舗立地協議会委員の設置について

- |      |       |
|------|-------|
| 委員   | 川角 一郎 |
| 副委員長 | 塚本 近  |
| 委員   | 穴戸 邦夫 |
|      | 田中 常洋 |
|      | 金行 哲昭 |
|      | 杉原 洋  |
|      | 入本 和男 |



農地保有合理化事業は市（農政課）が引き継ぐ  
（写真は向原町時代の公社建物）

農地保有合理化事業は、財団法人安芸高田市農林業振興公社の解散により、業務を農政課が引き継ぎます。

Q（土地の利用集積は）今後の営農に関して重要であり、現在の体制、予算で対応できるのか。

A 公社時代に全市民的に事業推進に努めたが、拡大には至らず、現在は主に向原町、吉田町の今までの事業を引き継ぎ、非常勤雇用で事務執行します。



住民の生命と財産を守る公共事業推進を  
（三次河川国道事務所）

安全・安心な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書

賛成討論（本会議）

入本 安芸高田市の公共事業推進にとって重要であり、近隣の三次市、庄原市にも市長、議長が働きかけて意見書の趣旨が達成できるように要望して賛成。



残念 コイヘルペス発生（多治比川）

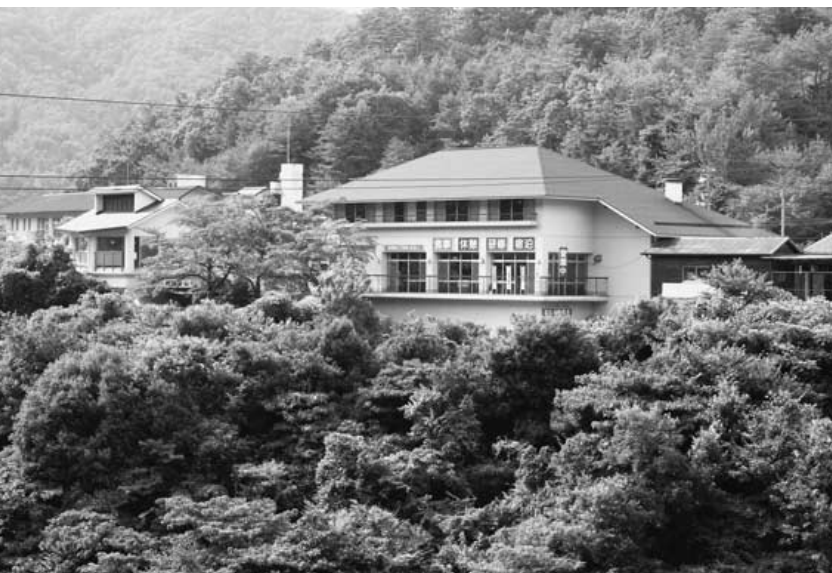
昨年引き続き  
コイヘルペス発生  
吉田町多治比川にて6月12日に発生。水温17度〜18度で発病、コイ特有の病気で、真鯉、錦鯉のみ発病します。  
30度以上では増殖することができず人には感染はしません。

第3セクター等  
調査特別委員会

委員長 山本 三郎

5月23日、第15回  
委員会を開催しまし  
た。

なお、八千代開発  
公社「レストラン湖  
畔」食中毒について  
は、保健所の指導で  
改善された旨の報告  
がありました。



おまちしています おいしい料理で。「レストラン湖畔」

八千代町

「レストラン湖畔」

経営者決定

「レストラン湖畔」

委託業者については、  
公募で選定中との報  
告がありました。

（6月に「津田工  
業有限会社」に決定  
しました。）

代表取締役

津田幸一郎

（基本方針）

父親が土師ダム湖  
畔に居住しているよ  
うに土師ダムに強い  
愛着を持っており少  
しでもお役にたちた  
い。

「たかみや湯の森」改修

9月16日～10月24日休園  
10月25日オープン

施設は10年経過し  
一部が老朽化してい  
るので、積立て管理  
基金1億8,600  
万円のうち、約1億  
2,600万円でリ  
ニューアルして経営  
の安定を図られます。

6月定例会でリニ  
ーアル工事は予算  
計上され議決しまし  
た。

△改修内容▽

- ミニグラウンドゴ  
ルフ場の新設
- 大浴場の内装の改  
修
- 田園ガーデン開設



改修で魅力アップを期待

傍聴記

吉田町

山岡和子さん

新しい議場ができ  
て初めて傍聴に行っ  
た。6月2日の本会  
議と9日の一般質問。  
傍聴者の多いのに驚  
いた。9日など30名  
くらいでイスを運び  
込む程。市政への関  
心の高さを心強く感  
じた。

内容については抽  
象的なものはいただ  
けないと思う。具体  
的な事例、数字をあ  
げて迫力ある質問を  
望む。以前、反対の  
ための反対を繰り返  
し、いたずらに時間  
を費やす場面があっ  
たが、今回は気持ち  
よく傍聴できた。財  
政難のなか、手を携  
えて市の発展を期し  
たい。

# 15名が問う



**山本 三郎**  
(政友会)

**山本** 選挙公約で道路網の整備「東広島―向原線」を国、県の人脈を通じ工事の再開を約束されたが、**市長** 東広島―向原線の固有の名前で約束はしていません。市内の道路事情を踏まえ、国・県へ働きかけます。

**山本** 住みよい住宅環境、入居者のコミュニティの場として向原町尾原住宅団地に集会所の建設は**市長** 公営住宅と集会所のあり方については今後の研究課題といたします。

<b>道 路</b>
<b>東広島―向原線</b>
<b>市長／固有の名前では</b>

**山本** 中山間集落の崩壊に直面しているが施策は。

**市長** 国の地方再生戦略の方針を踏まえ、事業の展開を図ります。



定住対策で再整備される小丸子団地跡地（向原町）



**宍戸 邦夫**  
(無所属)

## 新市長 職員の意見を

**市長／意思疎通で一丸**

**宍戸** 新市長のまちづくりは、職員の意見を聞きながら理解を得る取り組みが、今、必要では。

**市長** 職員との意志疎通は行政運営に必要不可欠であり、各部署でミーティングを企画して、職員との意志疎通による意識改革などを図り、職員が一丸となって、政策公約の実現に向け努力します。



職員との意志疎通を



# 新市長

# 浜田市長



明木 一悦  
(あきの会)

マニフェスト

## 具体的な施策は

市長／これから勉強

**明木** 政治公約・マニフェストの具体的な施策や数値目標は。とめであり、具体的な施策や可能性はこれから勉強していきます。

**明木** 政治公約・マニフェストの検証は。市況 行政評価制度などの中で、実施状況や成果を検証していきます。

**明木** 一般質問時間制限への考えは。市況 一問一答方式や反問権などについて議会の意向を重視し、他市の状況も参考にしながら年度内に結論を出します。

## 一口メモ

### マニフェスト

政策課題について具体的な目標や達成期限などを明示し、事後検証を行うことで、有権者と候補者との間の委任関係を明確化することを目的としています。



一般質問は政策論争（議場風景）

## 定住

# 人口3万5、000人

### 市長／子育て充実



今村 義照

(あきの会)

芸備線圏域に絞った定住施策を。  
**市長** 広島市、東広島市をターゲットとし、就労の場の確保、教育のレベルアップ

**今村** 定住促進に向けた総合計画の主要指標3万5千人を指す考えは。

**市長** 平成27年度数値で2万9、621人と予測され、現実的ではないが、政治目標が少子高齢化対策、定住促進であるので、子育て環境の充実に重点を置き対応します。

**今村** 全域的な施策でなく、国道54号線、



定住施策には芸備線の活用を

による「定住のまちづくり」を進めます。

**今村** 子育てに教育的視点を加味した体制づくりを。

**教育長** 子どもの発達段階に応じた就学前教育や定住促進の面からも、市内で安心して教育ができる環境づくりに取り組めます。

## 保育所

# 民営化の所見

### 市長／社会情勢を考慮



山根 温子

(無所属)



子どもの大切な発達段階を担う保育所

**山根** 保育所の民営化の所見は。

**市長** 行財政改革と深く関わりがあり、今後とも社会情勢を考慮しながら検討します。

**山根** 4月の人事異動による地域との連携や保育の質の低下は。

**市長** このたびの異動は、人事の活性化と人材の有効活用を

図るため、今後とも人事異動にあたっては十分配慮します。

**山根** 男女共同参画推進条例の制定は、本市の地域性に配慮し、市民の意識や実態を把握した上での策定が必要では。

**市長** 策定にあたっては、市民の幅広い意見を賜わりながら条例にします。



松村ユキミ  
(新政会)

## 給食 調理場整備は 市長／運営協議会を組織

**松村** 小中学校給食調理場整備は、検討委員会より答申がされて1年を経過するが。

**市長** 保育所も対象に入れた総合的な給食センター整備に向けて検討しています。20年度には「給食整備運営協議会」を組織し、委託料180万円を予算計上し調

査研究をします。

**松村** 吉田総合病院における小児科医療体制の充実は。

**市長** 市内医師会と連携し、平成18・19年度に小児救急についての研修事業を実施しました。「かかりつけ医」となっていただき、初期救急に備えています。



小児科医療の充実を (JA吉田総合病院)



金行 哲昭  
(政友会)

**金行** 財政健全化計画10カ年計画を策定されていますが、人口減対策と住民サービスに重点を置かれるなかで、計画の見直しは。

**市長** 計画については、将来的な財政収支見通し、実施計画にある事務事業の進捗状況を勘案し、毎年度予算編成時に検討し、少子高齢化対策など政策目標の実現に向けて見直しをします。

**金行** 「安芸高田市かがやきプラン」のなかで「学習補助員」と「家庭教育支援員」とは。

**教育長** 「家庭教育

## 財政

### 住民サービスに重点 市長／予算編成で見直し



高齢者にやさしい政策を

支援員」は、教育、社会福祉等の知識者であり、家庭、児童への支援をする。「学習補助員は市独自の新規事業として、

学力の定着向上であり、担任の事務等の負担軽減にも取り組めます。

24時間

# 子育て支援

市長／人口減を止める



**岡田 正信**  
(日本共産党の会)

**岡田** 施策公約で24時間保育、子育てを支援するといわれるが、夜間保育は教育理念から外れると思うが。

**市長** 人口減を止めるため若者に住んでもらえる条件のひとつ



保育の充実で若者定住（甲立保育所）

つであり、その仕組みづくりを考えています。

**岡田** 人権協会の運動方針は、過去の反省はなく旧態依然の考えだ。補助金400万円は見直すべきではないか。

**市長** 人権協会の活動は市の制定した「人権尊重のまちづくり条例」を具現化する内容なので助成しています。

合併後、6町には

課題があり、市民に理解していただき議論しながら整理します。

**岡田** 火葬場は急ぐべきだが葬儀場は不要だ。

**市長** 市民の声は各地域で誤解があったようです。必要最低限の葬儀場を考えています。

葬斎場

# 市民の合意は

市長／議会で確認



**亀岡 等**  
(市民クラブ)



光台苑火葬場（高宮・美土里）

**亀岡** 葬儀場併設の計画は市民の合意を得ていない。現在の計画を白紙に戻し、火葬場だけの早期整備を。

**市長** 葬儀式場併設は議会で確認されており、今後は市民の皆様の同意を得て前向きに進めていきます。



秋田 雅朝  
(政友会)

**秋田** 集落営農推進による大規模農家の対策は。

**市長** 「農用地利用規定」の締結など、担い手と集落営農組織の連携により振興を図ります。

**秋田** 大規模農家に耕作地集積する組織設置は。

**市長** 「農地流動化推進員」を中心に農地管理する仕組みづくりを進めます。

**秋田** 農業振興計画の検討は

**市長** 地域にあった見直しが必要だと思います。

## 農業

### 地域農業の振興

市長／農地流動化推進員で

**秋田** 酪農家の堆肥持込み料金、繁殖、肥育農家への補助金支援は。

**市長** 行政として総合的な判断が必要で、大きな見地で検討します。

**秋田** 救急車到着から出発までの時間短縮を。

**市長** 現場で救急隊員による適正な観察や処置が義務化し、車内での処置が多くあり時間を要しています。



地域に合った農業振興を



塚本 近  
(新政会)

## 格差 地域に合った政策を

市長／歴史・文化を活かす

**塚本** 災害時には市内業者の協力が必要で、大災害発生後の状況説明、復旧対策等の協力体制は。

**市長** 各方面からの支援が必要で、特に地域の状況に精通し所要の資器材を保有する建設業界の協力を得ることは不可欠です。今後、防災体制等の確認をします。

**塚本** 都市と地方の格差が広がっている今日、本市も中心部と周辺部の格差を感じる中、地域にあった政策を。

**市長** どこもかしこも同じではなく、その地域特有の歴史、文化を活かした予算のあり方、事業の展開が必要で、今後事業の見直し等を行います。



地域文化を活かした施策を



杉原 洋  
(新政会)

# 水道 水源確保

市長／補助事業申請



矢賀地区に水源（美土里町）

杉原 20年度、簡易水道創設認可事務等に着手するところだが、横田振興会の要望どおりの水源確保は。市長 計画給水人口の水源確保には至りませんが、将来的な

課題も含め、地域のみなさんと行政が知恵を出し合っていく必要があります。20年度、国の認可と補助事業申請を考えています。

# 副市長 2人制

市長／状況で判断



入本 和男  
(あきの会)

入本 地域格差について 市長 地域全体を財産として活用し、それぞれの事業を検討し具体化して地域の特産を活かし格差をなくします



現在は副市長1人で空き室に

入本 人件費と職員削減は。市長 組織内の状況を把握し、総合的に検討を重ね判断します。

入本 財源の確保は。市長 実施計画のローリングを見直し、財政健全化計画を実施します。

入本 第3セクターの運営は 市長 全市民の財産として市民に活用していただき、女性を含めたバランスのとれた役員を選任して

入本 副市長2人制はどうする。市長 事務事業の執行状況を把握して判断します。

## 郵便物

# 行政嘱託員の活用

市長／郵便法に基づき



青原 敏治

(あきの会)

**青原** 経費削減のため郵送を、各支所をまわる逓送便や、月2回の行政嘱託員で活用できないか。  
**市長** 市から郵送する郵便物の多くが期限内に確実に受取人に届く必要がある、



行政嘱託員で経費節減を

特定の人に送る文書は郵便法に基づき郵便事業(株)など許可された事業者しか発送できません。  
経費削減の観点から郵送の内容を精査し、合理化を進めます。

**青原** 子育て支援で放課後の子どもの居場所対策は平等に。  
**市長** 放課後子ども教室と児童クラブの運用基準を明確にして分かりやすく市民に広報し、納得していただける形で実施します。料金の値下げについては検討課題です。



田中 常洋

(政友会)

**田中** 18年の豪雨大災害は鮮明な記憶として脳裏に焼きついている。災害と森林整備との因果関係は明確であり、今後の林務行政を問う。  
**市長** 環境保全の取り組みは、世界的規模で取り組まれ、森林の果たす役割は高く評価されています。市では19年度創設の「ひろしまの森づくり事業」を最大限に活用し、災害に強い林務行政をめざします。



森林整備で災害防止を

## 災害 林務行政を

市長／森づくり事業

# 学校耐震化実施状況

※資料は教育委員会より

## 耐震化優先度一覧 (平成17年度実施 判定結果)

学校名	建物名	優先度
吉田小	校舎	①
吉田小	校舎 (建て増し部分)	④
小田小	校舎	④
小田東小	校舎	③
小田東小	校舎 (建て増し部分)	④
向原小	校舎	④
吉田中	校舎 (建て増し部分)	②
吉田中	校舎	①
向原中	校舎 (建て増し部分)	②
向原中	校舎	③
八千代中	校舎	⑤
八千代中	体育館	④
美土里中	寄宿舎	⑤
可愛小	体育館	④
甲立小	体育館	⑤
小田小	体育館	⑤
小田東小	体育館	⑤
向原小	体育館	⑤
刈田小	体育館	⑤
美土里中	校舎	⑤
甲田中	校舎	③
甲田中	校舎 (建て増し部分)	④
向原中	体育館	⑤
向原中	武道場	⑤

上記以外の学校建物は耐震化されています

※アミかけは21年度改修実施予定校です

### 補助金の増額

国は、早期の耐震化率向上を目的として20年6月に法律を改正し、20年から3

本市の学校施設は、建設年度が古く老朽化が進んでいる建物も多く、耐震化率は、20年4月1日現在で48・9%となっております。教育委員会では、総合計画実施計画へ学校耐震化の対応を盛り込んでいます。

耐震化率は  
48・9%



改修される向原中学校

年間に限り学校施設の耐震補強及び耐震改修に対する補助金の増額を実施しました。

### 前倒しして改修実施

本市では平成17年に学校施設の耐震化優先度調査を実施しており、20年度予算



改修済みの来原小学校体育館

に第2次診断及び概略設計の予算を計上していますが、国の方針を受けて、優先度調査で危険度が高い(別表優先度ラン

ク①②)と判定された学校について、従来の計画を前倒しして耐震対策を実施することとしています。(入本 和男)



# 会派のうごき 4/1~7/2

## あきの会

代表 青原 敏治

明木 一悦  
入本 和男  
今村 義照

研究の成果をもとに、議員として市独自の政策展開を行うべく、新しい条例提案への取り組み。

### 安芸高田市地産地消費推進条例

市内で安全に生産された農作物などを地域で消費する「地産地消」を推進し、農林畜水産業の生産拡大、安全と安心の供給に勤め、需要の拡大で基幹産業の活性化と地域経済の向上を図ることが目的です。

### 安芸高田市男女共同参画推進条例

安芸高田市男女共同参画プランの基本理念とした、住民一人ひとりが、生き生きと輝き、暮らせる『人輝く・安芸高田快適居住空間』を目指します。

これらの二つの条例案作成を行いました。

## 新政会

代表 川角 一郎

加藤 英伸  
塚本 近  
赤川 三郎  
松村ユキミ  
杉原 洋  
玉川 祐光  
渡辺 義則  
松浦 利貞

6月14日 広島大学において開催された「地方分権懇話会セミナー」に参加し、「第2期分権改革」について研修しました。

なお今後の研修計画として

8月に

・地産地消

・協働のまちづくり

・行政改革

の先進地調査を予定しています。

## 日本共産党の会

代表 岡田 正信

6月22日

八千代町下土師集会所

「日本共産党の農業再生プラン」を中心に学習会に参加研修を行った。

・市内の農産物、特に米を「アグリフーズ」に売る場合、ルートの改善が必要。  
・農家、農業の担い手育成に、各自自治体の責任もある。

・高齢者は地域の経験者であり、農業の担い手であり、育成者だ等々、さまざまな意見がありました。

## 公明党

代表 藤井 昌之

### 研修報告

日時 5月13日

場所 大阪府

講師 元東京都出納長室副参事

### 内容

- 1、財政の状況と財政環境
- 2、地方分権と財政改革
- 3、財政の役割
- 4、地方財政制度の構造
- 5、財政の法規定と財政分析
- 6、今後の地方財政

日時 7月2日

場所 東京都

### 内容

「都市の地域ブランド戦略」

「地域経営の新たな視点」

1、基調講演「都市の地域ブランド戦略」

2、事例報告

「八戸市における地域ブランド戦略」

「佐世保バーガー&九十九島カキ」よその町にはない美味しいもの」

3、パネルディスカッション

# 地域のかがやき

## 吉田 地区対抗大運動会(6月1日)



第32回可愛地区振興会

## 八千代 健康づくりにパークゴルフを



八千代町パークゴルフ場(54号線・佐々井)連絡先 52-3175(沖野さん)

## 美土里 親子で追っかけ玉入れ



本郷ふれあい運動会(6月8日)

## 高宮 笑顔でいきいき いつまでも 「高齢者のつどい」7/5開催



来女木ひまわり会主催 参加者のみなさん

## 甲田 吉田口駅を市の花 「アジサイ」で歓迎



吉田口整備推進委員会のみなさん

## 向原 見に来んさいや。キジやイナジシがいますよ。



保垣の井上喜春(右)さんが飼育

編集後記

市長選挙が4月に行われた関係で、安芸高田市の20年度予算は6月定例会に上程され、慎重審議の結果、可決いたしました。

浜田新市長は就任早々ということもあってか、検討課題として先送りされる案件もかなり見られました。

これからの市政において市長としてのお考え、説明責任を十分に果たしながら取り組んでいただくことが望まれます。

(加藤 英伸)

〈議会広報特別委員会〉

議長	松浦 利貞
委員長	入本 和男
副委員長	加藤 英伸
委員	明木 一悦
	秋田 雅朝
	塚本 近
	松村ユキミ

